

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	共同作業所助成事業		コード	02-02-03-02	担当課	保健課 健康係
事業実施期間	昭和61年		担当者	高橋	電話	64-1820
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり				
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり				
	小項目	精神保健				
	施策	社会復帰の促進				

事業について	
目的	回復途上にある在宅の精神障害者に作業の場を確保し、通所することによって生活のリズムを作り、共同で作業することにより、対人関係の改善と社会適応能力の向上を目指し、社会復帰の促進を図る。
対象 (誰のために)	備前市および東備保健所管内の精神障害回復途上者
内容	作業所への通所者および精神障害者家族会に対して運営支援と経費の助成及び生活支援を実施。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
作業所通所者数	22 人		
一人当り月平均通所日数	12.9 日		
就労移行した者の数	3 人		
家族会員数	51 人		
家族会(集いと研修会)	17 回		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,603	国県補助金等	2,651	直接事業費		国県補助金等	
	人件費	1,510	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	7,113	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.20 人		
結果指標名	作業所通所者数		
結果指標量	22		
単位	人		
対前年比		0.00%	
事業費	7,113,000 円		
単位当たりコスト①	323,318 円		

結果指標名	家族会の集い・研修会の開催		
結果指標量	17		
単位	回		
対前年比		0.00%	
事業費	7,113,000 円		
単位当たりコスト②	418,412 円		

事業の成果			
成果指標名	作業所利用率	式又は説明	作業所通所者数/作業所定員
	17年度		
成果指標量	78.6%		
対前年比		0.00%	
到達目標値	80.0%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等：精神保健及び精神障害者福祉に関する法律]
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	市内には精神障害者の社会復帰施設がないため、障害者の社会復帰を支援する作業所として今後も運営支援が必要である。また、回復途上の障害者が、誰でも気軽に作業所を見学・参加できること、通所中断者が早期に再開できるよう継続支援していくなどのシステム作りが必要である。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	22.5人	結果指標量②	17回
目標値 成果指標量	80.0%		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	・作業所が社会復帰の場として広く市民に知られるように、支援センターとの連携でPRする。 ・障害者を抱える家族の不安や対処の仕方などの病気の理解と仲間づくりのための定例会を継続する。	随時	・作業所利用率の上昇 ・家族会の活性化と仲間づくり